

平成 25 年度調査研究報告書

車いす利用者がウエディングドレスを
着た際のデザインや移動のしやすさに
関する調査

長野大学 社会福祉学部

伊藤専門ゼミナール

F10074 西澤 華穂

指導：伊藤 英一 教授

目次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
2. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
3. 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
4. 関連情報・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2～3
 - ① 車いす利用者の主な病名・・・・・・・・ p 2
 - ②結婚式で着たい衣装統計・・・・・・・・ p 2
 - ③車いすの方のためのドレスを扱っている会社（企業）・・・・・・・・ p 2
 - ④ドレスライン（デザイン）・・・・・・・・ p 2～3
5. 調査協力をしていただいた衣裳店や企業・・・・・・・・ p 3
6. 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3～10
 - 6-1 玉姫殿・・・・・・・・ P3～6
 - ① ドレスの特徴・・・・・・・・ p3
 - ②ドレスの着脱・・・・・・・・ p3
 - ③椅子での姿勢・・・・・・・・ p4
 - ④車いすへの移動・・・・・・・・ p 4
 - ⑤車いすでの姿勢・・・・・・・・ p 4～5
 - ⑥グローブ・・・・・・・・ p6
 - 6-2 BRIDALSYLISTSOGA・・・・・・・・ p6
 - ①車いすの人のためのオリジナルドレス・・・・・・・・ p6
 - ②着脱・・・・・・・・ p7
 - ③車いすでの移動・・・・・・・・ p7
 - ④ドレスのデザイン・・・・・・・・ p8
 - ⑤車いすへの装飾・・・・・・・・ p 8
 - ⑥トレーン・・・・・・・・ p 9
 - ⑦コンローラー部分・・・・・・・・ p 9
 - ⑧靴への配慮・・・・・・・・ p 10
7. 考察・・・・・・・・・・・・・・・・ p 10～11

8. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 11
9. 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 11~12

10. 謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 12

1.はじめに

伊藤ゼミではこれまで、「バリアフリー」について考えてきた。その中でも私が特に興味を持ったのは、車いす利用者のオシャレについてである。私自身が車いす利用者であるため、私服は着やすさを優先し選ぶ傾向がある。そのため裾の長い服や車いすに絡まってしまうような服などは選べない。そのため人生において大きなイベントともいえる結婚式には、好みのドレスを着たいと望むが、ウエディングドレスは引きずる部分も多い。そのことにより、車いすへの絡まりや見た目が美しくならないことが想定される。しかし、車いす利用者であろうとなかろうと、女性ならウエディングドレスへの憧れは大きいいため、車いすで着られるウエディングドレスの調査を行おうと思った。

2.目的

車いす生活では、着替えやトイレなどの心配があるため、オシャレを楽しむというより、着脱のしやすいこと優先して服を選ぶことが多い。しかし車いす利用者としてではなく、女性としてとらえるのなら、服には少なからず好みのデザインや着心地を求めたい。結婚式というのはだれもが主役になれる大きなイベントである。女性ならウエディングドレスへの憧れは大きい。そのため車いす利用者であってもウエディングドレスは、人生で最大の喜びを感じるための大切な衣装のひとつであると考え。現実では裾が長く車いすに絡まってしまうことも考えられ、移動が困難なのではないか、ドレス自体のシルエットがきれいに演出できないのではないかという懸念がある。そこで、その懸念をなくす方法はないかを検討するのを感じた。車いす利用者の意見を元に作成されたウエディングドレスについて一般的なウエディングドレスの試着と比較し調査を行った。

3.調査方法

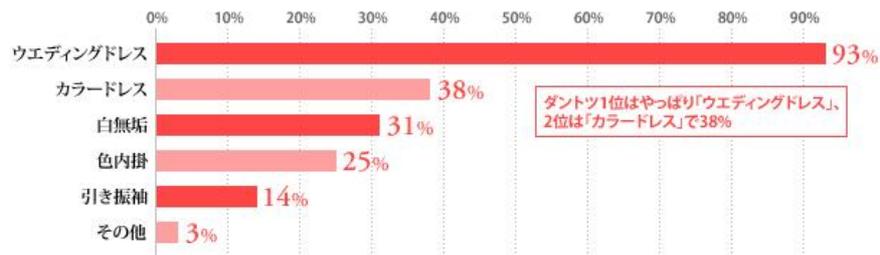
今回の調査では、車椅子利用者のためにデザインしたウエディングドレスを扱う何軒かの衣装店や、一般の貸衣装店にメールを送ったり実際に伺ったりした。このことにより車椅子の花嫁が着やすく体に負担のかからないウエディングドレスの工夫、着脱への工夫や着心地、感じたことを考察する。また、通常のウエディングドレスを着たまま車椅子に乗るとどのようなシルエットなのか、移動の際の絡まりなど注意しなければいけない点がどこにあるのかなどを、車いす利用者のためのウエディングドレスと比較し考察する。このとき、脳性まひによる体幹の機能障害で、日常生活には電動車いすを使用している 21 歳の女性 1 人を被験者とする。

4. 関連情報

① 車いす利用者の主な病名

- ・脳性まひ
- ・二分脊椎などの先天性の疾患
- ・脊椎損傷
- ・筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの神経難病
- ・筋ジストロフィーなどの遺伝性
- ・四肢欠損など
- ・体が弱いなどの身体的理由

② 結婚式で着たい衣装統計



③ 車いすの方のためのドレスを扱っている会社（企業）

- ・株式会社アトリエロングハウス
- ・株式会社曾我
- ・dow-corporation

④ ドレスライン（デザイン）

A ライン

シルエットがアルファベットの「A」に似ていることからこの名前が付けられた。ウエストからすっと伸びるラインがエレガントな印象を与える。

ベルライン

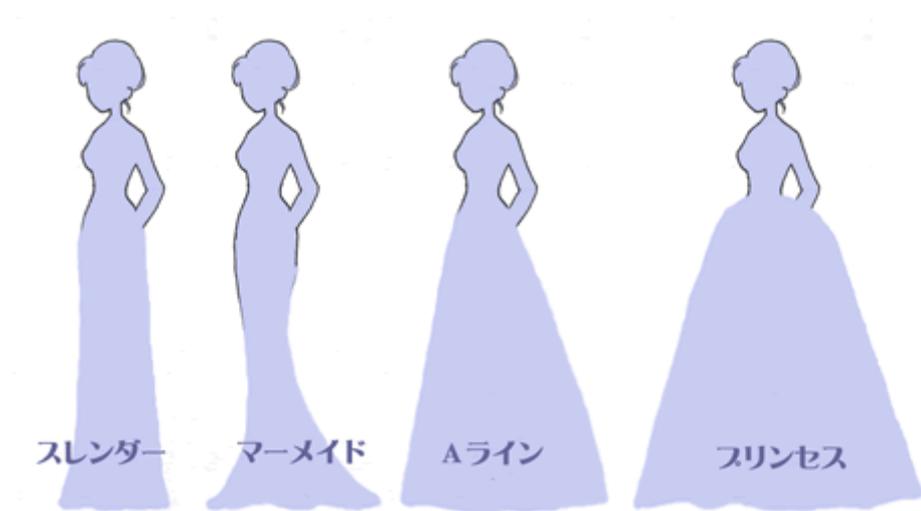
ウエストを細く絞り、腰から裾にかけてベル型に広がるラインである。華やかで人目を引くため、大きな会場でもよく映える。

スレンダーライン

体のラインにフィットするデザインで、かなり細身のシルエットである。シンプルな印象のものが多く、大人っぽい雰囲気になる。

マーメイドライン

体のラインに沿ったデザインである。裾にだけギャザーやフレアーを入れ、ボリュームを出したシルエットが人魚を思わせるデザインとなっている。



5. 調査協力をしていただいた衣装着店や企業

試着や調査に協力していただいた衣装着店

- ・ 玉姫殿
- ・ 株式会社曾我

試着や調査協力をして頂けなかった衣装着店

- ・ 高砂殿

6. 調査結果

6-1 玉姫殿

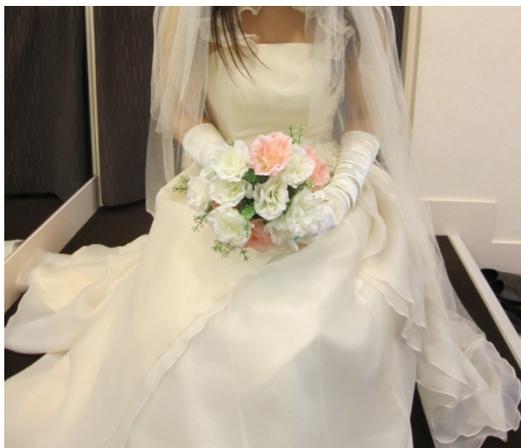
① ドレスの特徴

玉姫殿では、一般的なウェディングドレス（以下、ドレスとする。）を試着させていただいた。デザインとしてはシンプルなもの、ドレスをふわっと見せるパニエや針金の入っていないものを事前に玉姫殿のほうで選んで用意していただいた。

② ドレスの着脱

ドレスを着るときは玉姫殿のほうにある椅子に移って着替えを行った。ドレスをまたいで着るのが大変なので上からかぶる形で着せてもらった。腰より上をフォックやファスナーで止めていったが、その時は座ったままの状態で行うことができた。多少の締め付け感

があり、短時間は我慢できるが長時間座っているとと思うように体制が変えられないため負担になると感じた。



椅子に座った時の正面から



車いすに座った時の正面から

③椅子での姿勢

着替える時に使った椅子の場合なんとかドレス自体のシルエットが保てる。椅子にちょっとした背もたれがあったため横から見ると少し盛り上がっているが、後ろから見るとあまり気にならない。(椅子1、椅子2参照)



椅子1



椅子2

④車いすへ移動

ドレス姿のまま椅子から車いすに移動した。その際ドレスの裾を持ち上げていないと引きずってしまう。

⑤車いすでの姿勢

車いすに座っている状態でのシルエットは、トレーン（後ろの引きずる部分）を背もたれのところにかけるような形にしたのでシルエットが乱れてしまった。(車いす1、2参照)

裾は長めにできているので足もとは隠れるので靴は見えない状態であった。

着せてもらったドレスにはベールがついており、ベールの長さがあると車いすのタイヤに巻き込んでしまうことがあり移動は難しい。(車いすのタイヤの部分参照)



車いす 1



車いす 2



車いすのタイヤの部分



背もたれ部分

⑥ グローブ

グローブ（ウエディング用の手袋）をはめさせてもらったが、指をそれぞれ通すタイプはピッタリとしているためか、はめにくかった。しかし、フィンガーレス・グローブという指をそれぞれに通さなくてもよいグローブがあり、そちらのほうがはめたりするには簡単であった。



6-2 BRIDALSYLISTSOGA

① 車いすの人のためのオリジナルドレス

BRIDALSYLISTSOGA では、一般的なウエディングドレスやタキシード、着物などの貸衣装を取り扱っており、その中の一つとして車いすの人のために開発されたウエディングドレスがある。このドレスは実際に車いす利用者の人に挙式の際、気になった点やこのようなドレスなら着やすいなどといった意見をもとに開発された。お尻や背中にくる部分などにはストレッチのあるジャージ素材を使っている。それは、体に感覚のない人が着た場合体温調節がうまくできないこともあるので、冷えにくいように考えられている。また、夏場の場合、汗をかくことも想定され吸水性のよいジャージ素材となっている。

重さもそれほどなく先方で用意していただいた一般的なものよりもだいぶ軽く作られている。



写真の左側 BRIDALSYLISTSOGA で扱っている一般的なドレス

写真の右側 車いすの人のためのオリジナルドレス

② 着脱

着脱はトップスの部分とスカート部分の部分がわかれており、ともに両端がファスナーとなっているため麻痺や着やすいほうに合わせて着脱が可能になっている。



着方は一度介助してもらい立って、お尻にあたる部分を車いすの座面にひくようにし、そのまま座った。足もとから腰のあたりまで一つのファスナーになっているため、その後の着替えへの負担はなかった。また、後ろの部分が伸縮性のある素材になっているため、苦しさなども全くなかった。背中部分に装飾やファスナーがないことにより、座った時に背中への負担を減らすことで褥瘡ができない工夫がされていた。

③ 車いすでの移動

移動時にキャスターにドレスが巻き込まれないように車いすの高さに合わせてドレスの裾の長さを変更できるようマジックテープがついていた。



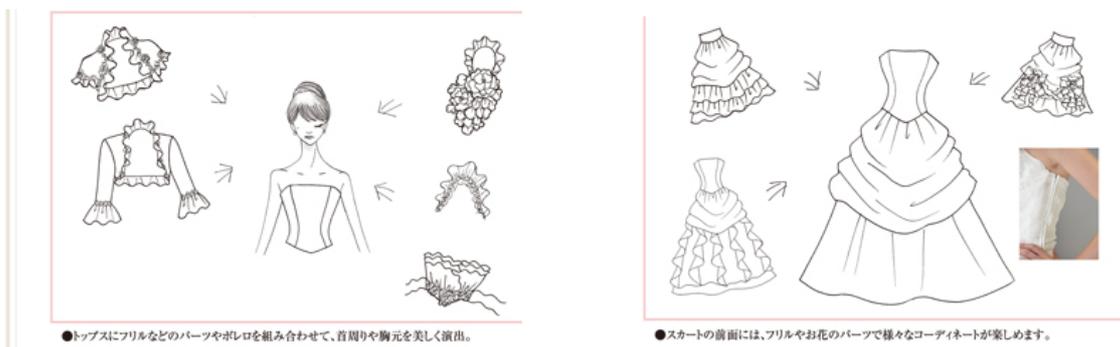
調節前



調節後

④ ドレスのデザイン

ドレスのデザインについては、トップスも 2 種類ありどちらかを選ぶことができる。また、ドレスのカバーも 3 種類あり、そのほか自分好みにアレンジできるようなパーツがたくさんあった。ドレスのカバーはスナップボタンで取り外しができるようになっており、カバーを変えるだけで違うデザインのドレスにすることができる。



⑤ 車いすへの装飾

車いす利用者の中ではオーダーメイドの車いすを使用している人もおり、自分の使いなれた車いすがある人も多い。しかし、真っ白なウエディングドレスと合わせるのには、車いすの色が浮いてしまったりする。少しでもウエディングドレスと車いすが一体化できるように、ひじ掛けのところやタイヤ、背もたれの後ろにつけるカバーなども試作品の段階ではあったが、開発されていた。せっかくのウエディングドレスなので車いすもできるだけ違う印象になるように開発が進んでいた。



⑤ トレーン

車いす利用者でもトレーン（後ろの引きずる部分）への憧れは強いが、タイヤに絡まってしまうという心配からあきらめてしまう人もいたということが事前の調査で分かっていた。しかし、そのような要望にも応えられるよう、背もたれに巻きつけて装着するタイプのトレーンが開発されていた。トレーンはつけたいが、バージンロードをおしてもらいたいとの意見が出たため、トレーンのレースの部分を取り外し可能にしてあった。



レースあり



レースなし

⑦ コントローラー部分

電動車いすの場合コントローラがついており、ものによって違うが大体黒なのでドレスから色が浮いてしまい目立ってしまう。調査中に気付いたことだったが、りぼんを巻くなどの工夫により、見栄えを良くすることができた。



コントローラー部分装飾前



コントローラー部分装飾後

⑧靴への配慮

実際にはつけてみなかったが靴が見えても大丈夫なように、自分の靴の上からいぶせる白い靴カバーもあった。下肢に感覚がない人など普通のパンプスを履いた時にぬげてしまってもわからない。また、体の反射によって体が動いてしまい脱げてしまう人もいる。そのような人のために、きんちやく袋のように靴全体を覆いかぶせるようなカバーが開発されていた。



ドレスの全体

7. 考察

玉姫殿で試着したドレスは一般的に立って結婚式をするように作られているため全体的に裾が長く、着替えをしてから車いすに移動する際、移動を介助する人のほかにドレスの裾をもつ人など多くの人の協力が必要だと感じた。また、ドレスの横の部分や後ろの部分が特に長めに作られていて車いすの上にかぶせるような形になるため、シルエットも美しくなく、タイヤの部分にも大きくかかってしまうため絡まりやすくなってしまったと感じた。この状態では電動車いすであっても、自力での移動は不可能であり押しってもらうにしても、足もとでのドレスの絡まりはないか、サイドの絡まりはないかなど気にする点がたくさんありやはり移動をするという面でも不自由な部分が多いことを感じた。

株式会社曾我のオリジナルドレスは車いす利用者の意見を元に作成されたものなので、車いす利用者にとっては、移動の際の絡まりを極力気にしなくて良いようにできていたり、お尻の部分に装飾がないため座り心地も普段と変わりなく過ごせたりという工夫がかなりされてあった。また、背中部分がストレッチ素材になっていて締め付け感がなく、フィット性はあるようになっているので着くずれの心配もないと感じた。ドレス自体のデザイ

ンも、カバーを取り外すことができ、ドレスを選ぶ際も着替え直すという手間がないため体にも負担がかかりにくいと感じた。車いす自体もいろいろな装飾ができるので、普段と違ったイメージを持って、ウエディングドレスの持つ純白といったイメージにも近づけられるのではないかと感じた。

しかし一般的なドレスも車いすの人のためのオリジナルドレスも実際の結婚式で使用した事例は調査した中では未だないと聞いた。絡まりや着にくさ、自分の好きなドレスを選べないのではないかとといった不安があるのだと思った。車いす利用者のために開発されたというこのようなドレスがあることを知らない人もまだまだたくさんいるのではないかと、車いすだからといって結婚式をあきらめてしまう場合もあると思う。

8. まとめ

この調査を通じて、車いす利用者が一般的なドレスを着ることもできるが、その際はより多くの人の手助けが必要となることがわかった。また、気に入ったドレスのデザインがあったとしても、車いすの上にかぶせる形になってしまうため美しく見えないこと、ドレス自体の重量が重いと、その分体にも負担がかかってしまうことを実感した。また、パニエ（ドレスを膨らませ、ふわっとした印象に見せるためスカート部分の下に着るもの）が入らないドレスといった限定的なドレスの選び方になってしまっていて、少し妥協した形でのドレス選びになってしまう可能性もある。その点では車いすの人のためのオリジナルドレスのほうが、いろいろなパーツを組み合わせることによって自分好みにアレンジできる可能性は広がっている。また、カラードレスも扱っていることにより披露宴でのお色直しということも可能である。絡まる心配が少ない分、自分で移動ができ、移動を手伝ってもらえる場合は、介助者も式自体に集中できる。結婚式を楽しめるデザインになっているため、このようなドレスがあることにより結婚式を挙げるきっかけにもなれば良いと感じた。しかし、装飾用のパーツの種類が一般的なドレスに比べて少ないことや、車いす利用者にとってこのドレスの存在があまり知られていないことなど、まだまだ課題がある。今後は、さらにいろいろな装飾が増えることや、より多くの人にこのドレスを知ってもらうことが望まれる。

9. 参考資料

- ①「入門リハビリテーション概論 第4版」中村隆一 編者 2002 医歯薬出版株式会社
- ②「ユニバーサルファッション概論」財団法人日本ファッション教育振興協会 編者 2002 財団法人日本ファッション教育振興協会
- ③調査のちから「結婚式で着たい衣装は？」
<http://chosa.itmedia.co.jp/categories/investment/11177>
- ④株式会社アトリエ ロングハウス
<http://www.piroracing.com/jeans/wedding/#03>

⑤BRIDALSYLISTSOGA

<http://www.soga.co.jp/wheelchair/>

⑥株式会社 dow-corporation

<http://dow-corporation.jp/>

⑦上田玉姫殿

<http://www.tamahimeden.com/tamahime/>

⑧上田高砂殿

<http://ueda-takasagoden.com/>

⑨ドレスライン

<http://www.worldforwater.org/dress.html>

10. 謝辞

この調査にあたり、ご協力いただきました上田玉姫殿様、BRIDAL STYLIST SOGA 様に深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

平成 26 年 2 月発行

本件に関する問い合わせ先

伊藤英一（教授）

<http://www2nagano.ac.jp/ito>

長野大学 社会福祉学部

長野県上田市下之郷 658-1

0268-39-0001（代）